

セッション名 セッションテーマ	UMIN 登録番号	演題番号	演題名	発表日	会場名	セッション時間	発表 時間	質疑 時間
学会賞受賞候補 セッション	10021	Y-1	ICI誘発性/胸腺腫関連Triple M症候群の病態に関する検討	10月22日(木)	第1会場 (5F メインホール)	15:30~17:00	7	2
	10019	Y-2	視神経脊髄炎関連疾患の一群ではTRIM21抗体が血液脳関門を破壊させる				7	2
	10053	Y-3	空間的トランスクリプトームによるMOGAD脳生検組織の免疫ネットワーク解析				7	2
	10099	Y-4	ALS脊髄の非運動系領域に出現し運動ニューロン変性と相関する活性化ミクログリア亜群の免疫病理学的解析				7	2
	10147	Y-5	多発性硬化症におけるEBVの溶解再活性化とCD11c+非典型記憶B細胞（ABC）の増多				7	2
	10060	Y-6	自己免疫性ノドバチーにおける血清および髄液NFLと臨床・電気生理所見の関連に関する検討				7	2
	10229	Y-7	全脳三次元解析によるEAE脳のT細胞・Iba1陽性細胞共局在ニッチの時空間的拡大				7	2
	10003	Y-8	免疫チェックポイント阻害薬関連筋無力症・筋炎における自己抗体と臨床像				7	2
ワークショップ1 「MS1」	10207	WS1-1	多発性硬化症患者由来iPS細胞を用いた血液脳関門破壊改善標的としてのSERPINE1の同定	10月22日(木)	第2会場 (5F 大ホール)	10:30~11:33	7	2
	10214	WS1-2	臨床病型別にみた多発性硬化症の血液脳関門脆弱性				7	2
	10072	WS1-3	多発性硬化症におけるBroad-rim Paramagnetic Rim Lesionは身体障害度の独立関連因子である				7	2
	10043	WS1-4	IgA抗体欠損は多発性硬化症ウイルスモデルを悪化させる				7	2
	10159	WS1-5	多発性硬化症におけるParamagnetic rim lesionは視床萎縮と全病変負荷を介して認知機能低下に関連する				7	2
	10015	WS1-6	High-efficacy therapy下の多発性硬化症におけるSlowly Expanding Lesionの実態とその放射線学的特徴				7	2
	10176	WS1-7	多発性硬化症患者における免疫セマフォリンSema4Aと抗CD20抗体療法への治療反応性との関連				7	2
ワークショップ2 「NMOSD/MOGAD1」	10039	WS2-1	脳脊髄液中細胞外小胞のプロテオーム解析によるMOGADの新規病態関連分子SLAMF6の同定	10月22日(木)	第3会場 (6F 大会議室B)	10:30~11:33	7	2
	10100	WS2-2	Safety and efficacy of satralizumab in patients with relapsing MOGAD: Phase 3 METEOROID study(Encore Presentation)				7	2
	10226	WS2-3	Myelin patternの抗MOG抗体関連疾患に対する検査特性				7	2
	50002	WS2-4	NMOSDにおける脳室上衣病変の放射線学的・病理学的検討				7	2
	10114	WS2-5	抗AQP4抗体陽性の視神経脊髄炎における脳萎縮の指標としての第三脳室径の検討				7	2
	10059	WS2-6	抗AQP4抗体陽性NMOSDにおけるcirculating follicular helper T細胞サブセットの割合および細胞数の検討				7	2
	10158	WS2-7	NMOSD患者におけるC型肝炎ウイルス感染例の検討				7	2
ワークショップ3 「末梢神経・筋1」	10026	WS3-1	RNA-seqを用いたCIDP腓腹神経組織の網羅的遺伝子解析とバイオマーカー探索	10月22日(木)	第3会場 (6F 大会議室B)	15:30~16:24	7	2
	10174	WS3-2	自己免疫性ノドバチーの新規 <i>in vitro</i> 評価系としての有髄性感覚神経オルガノイドの有用性				7	2
	10089	WS3-3	再発性ギラン・バレー症候群の臨床的特徴の検討				7	2
	10169	WS3-4	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症における血清ニューロフィラメント軽鎖の臨床病理学的意義				7	2
	10098	WS3-5	圧力・加速度センサ搭載デバイスを用いた手指筋力の連続定量評価法の開発				7	2
	10020	WS3-6	CIDPおよび自己免疫性ノドバチーにおける神経超音波での神経束腫大パターンの検討				7	2
ワークショップ4 「脳炎・脳症」	10235	WS4-1	自己免疫性脳炎疑い例における網羅的な髄液TBA法の評価とそれに基づく抗神経抗体関連バイオマーカーの検討	10月22日(木)	第3会場 (6F 大会議室B)	16:30~17:33	7	2
	10225	WS4-2	成人抗GABA _A R脳炎の早期診断を目的とした臨床診断基準の提案				7	2
	10146	WS4-3	Bickerstaff脳幹脳炎における抗GQ1b抗体の血液脳関門通過機序の解明				7	2
	10236	WS4-4	複数抗体同時陽性の自己免疫性脳炎の臨床的特徴 ：共起ネットワーク解析による文献的検討				7	2
	10211	WS4-5	胸腺腫関連自己免疫性脳炎の診断における末梢血免疫表現型解析の有用性				7	2
	10127	WS4-6	COVID-19ワクチン接種後の筋痛性脳脊髄炎/慢性疲労症候群に対する血清25(OH)VitD正常化後のMg補充の効果				7	2
	10216	WS4-7	自己免疫疾患の再発・進行を阻止する‘armored’ effector Treg：炎症下での機能安定性を規定する因子の解析				7	2
ワークショップ5 「末梢神経・筋2」	10034	WS5-1	CIDPにおける免疫グロブリン維持療法の出口戦略 ：本邦CIDPLEジストリを用いた疾患活動性(CDAS)解析	10月23日(金)	第3会場 (6F 大会議室B)	8:51~9:54	7	2
	10108	WS5-2	IgG4抗NF155抗体陽性自己免疫性ノドバチーに対するエフガルチギモ皮下注の多施設観察研究				7	2
	10041	WS5-3	Comorbidities, treatment patterns, and corticosteroid burden in patients with CIDP in Japan				7	2
	10123	WS5-4	CIDP症例の最終ステロイド内服量に対する初回治療と1年間の病勢の後方視的検討				7	2
	10010	WS5-5	著明かつ広汎な神経肥厚を呈するCIDPの臨床像に関する検討				7	2
	10079	WS5-6	ギラン・バレー症候群でのsnRNP抗体の臨床的意義の検討				7	2
	10154	WS5-7	抗CNTN1抗体と複数の抗ガングリオシド抗体が陽性でIVIgと血漿交換療法が奏功した自己免疫性ノドバチーの1例				7	2

セッション名 セッションテーマ	UMIN 登録番号	演題番号	演題名	発表日	会場名	セッション時間	発表 時間	質疑 時間
ワークショップ6 「MG・LEMS1」	10128	WS6-1	重症筋無力症患者における即効性治療後の内服プレドニソロン量に関する検討	10月23日(金)	第2会場 (5F 大ホール)	10:05~10:59	7	2
	10223	WS6-2	FcRn阻害薬投与MG患者における抗AChR抗体動態と次回治療介入の関連				7	2
	10222	WS6-3	全身型重症筋無力症におけるニボカリマブ導入時期と治療反応性に関する検討				7	2
	10084	WS6-4	全身型重症筋無力症診断5年以内の患者におけるニボカリマブの有効性 ： Vivacity-MG3試験事後解析				7	2
	10085	WS6-5	全身型重症筋無力症におけるニボカリマブ投与患者の IgG 値と感染症発生率との関連性 ： Vivacity-MG3 試験				7	2
	10135	WS6-6	全身型重症筋無力症患者におけるニボカリマブ治療下のステロイド使用 ： Vivacity-MG3 OLE試験				7	2
ワークショップ7 「MS2」	10167	WS7-1	中枢神経脱髄疾患の診断と病態評価における脳脊髄液検査の再評価	10月23日(金)	第3会場 (6F 大会議室B)	10:00~11:03	7	2
	10061	WS7-2	多発性硬化症における保護的エクソソームmiRNAの同定とその治療応用				7	2
	10107	WS7-3	多発性硬化症における治療最適化と出口戦略 ： 早期HET導入の有効性とリバウンドリスクの検討				7	2
	10182	WS7-4	The iNKT cell stimulator OCH achieves NEDA in SPMS: a Phase II trial and translational study				7	2
	10083	WS7-5	日本人多発性硬化症(MS) 560人でのOfatumumab(Ofa)治療5年間の効果と安全性				7	2
	10074	WS7-6	中枢神経系炎症性脱髄疾患患者における小児期逆境体験がメンタルヘルスに及ぼす影響				7	2
	10008	WS7-7	多発性硬化症における治療状況の推移				7	2
ワークショップ8 「NMOSD/MOGAD2」	10029	WS8-1	NMOSDにおける生物学的製剤と補体因子の関連解析 ： 神経免疫疾患レジストリでの検討	10月23日(金)	第3会場 (6F 大会議室B)	15:50~16:44	7	2
	10077	WS8-2	神経免疫疾患に対する急性期免疫治療および抗補体療法による補体価変化				7	2
	10071	WS8-3	NMOSDにおける長期再発予防治療のリアルワールドデータ ： 生物学的製剤の切り替えと治療中の再発				7	2
	10142	WS8-4	NMOSD患者の治療選好調査 ： 離散選択実験に基づく治療選択における重要属性の検討（第2報）				7	2
	10045	WS8-5	視神経脊髄炎スペクトラム障害におけるC5阻害薬からの薬剤切替後の長期経過－第2報－				7	2
	10056	WS8-6	当院の抗アクアポリン4抗体陽性NMOSDに対する生物学的製剤の有効性と安全性の検討				7	2
ワークショップ9 「MG・LEMS2」	10028	WS9-1	第3相臨床試験MINT:MuSK抗体陽性gMGにおけるイネピリズマブの26週(RCP)および26週(OLP)の結果(EAN既発表)	10月23日(金)	第3会場 (6F 大会議室B)	16:44~17:38	7	2
	10048	WS9-2	重症筋無力症におけるMM-0mg症例の臨床的特徴に関する検討				7	2
	10210	WS9-3	全身型重症筋無力症患者を対象としたラブリズマブの特定使用成績調査の最終解析報告				7	2
	10115	WS9-4	全身型重症筋無力症患者におけるニボカリマブの持続的QOL改善： Vivacity-MG3試験				7	2
	10136	WS9-5	ニボカリマブ治療下日本人全身型重症筋無力症患者によるステロイド減量 ： Vivacity-MG3 OLE				7	2
	10143	WS9-6	ニボカリマブの長期有効性および安全性 ： Vivacity-MG3 OLE試験における約2年間結果				7	2
ワークショップ10 「MG・LEMS3」	10014	WS10-1	重症筋無力症患者におけるAChR抗体の補体活性化能は補体標的薬への反応性と関連する	10月24日(土)	第2会場 (5F 大ホール)	9:00~9:45	7	2
	10004	WS10-2	重症筋無力症における指定難病患者データベースを用いた解析				7	2
	10178	WS10-3	拡大胸腺摘除術後の経過中に増悪した重症筋無力症の臨床的特徴				7	2
	10129	WS10-4	重症筋無力症患者における即効性治療の長期的効果に関する検討				7	2
	10124	WS10-5	全身型重症筋無力症患者における症状変動と関連QOLへの影響の検討				7	2
ワークショップ11 「変性疾患と免疫」	10064	WS11-1	炎症性ミクログリアーBTK軸を標的とした多系統萎縮症（MSA-C）の新規治療戦略	10月24日(土)	第3会場 (6F 大会議室B)	9:00~9:45	7	2
	10199	WS11-2	アルツハイマー病における脳内抗原特異的CD8陽性T細胞の病期依存的機能転換機構				7	2
	10024	WS11-3	脳脊髄液リン酸化タウ181高値はレカナブ治療中のARIA発症および治療中断と関連する				7	2
	10185	WS11-4	ヒトミクログリア病態を解析可能なヒト化マウスモデルの開発				7	2
	10232	WS11-5	好中球由来カテコラミンが形成する骨髄免疫回路によるT細胞恒常性制御				7	2
ポスター1 「NMOSD/MOGAD1」	10149	P-1	MOG抗体関連皮質性脳炎におけるMRI所見の特徴 －てんかん重積との比較－	10月22日(木)	ポスター会場1 (6F 大会議室A)	14:55~15:25	3	2
	10196	P-2	インフルエンザA型感染後にギラン・バレー症候群様に発症したMOGADの1例				3	2
	10172	P-3	当院で経験した抗MOG抗体関連疾患4症例の報告				3	2
	10148	P-4	NMOSDにおける疼痛および治療・満足度関連PROの評価概念と測定尺度 ： 予備的スコーピングレビュー				3	2
	10035	P-5	シェーグレン症候群合併脳幹型NMOSDに選択的血漿交換療法を施行した一例				3	2
	10030	P-6	30年の経過で再燃を繰り返し、右大脳半球に病変が局限するMOGADの一例				3	2

セッション名 セッションテーマ	UMIN 登録番号	演題番号	演題名	発表日	会場名	セッション時間	発表 時間	質疑 時間
ポスター2 「脳炎・脳症1」	10233	P-7	NMDAR抗体とAMPA抗体はCREBリン酸化低下を介する共通の細胞応答障害機構を有する	10月22日(木)	ポスター会場1 (6F 大会議室A)	15:25～15:55	3	2
	10160	P-8	当院における抗leucine-rich glioma-inactivated 1 protein（LGI1）抗体陽性脳炎の後方視的検討				3	2
	10139	P-9	非典型的な表現型を呈した抗glutamic acid decarboxylase抗体関連神経疾患の臨床的特徴				3	2
	10234	P-10	単純ヘルペス脳炎における頭部MRI病変の遅発性拡大とNMDA受容体抗体についての検討				3	2
	10130	P-11	自己免疫性脳炎におけるB細胞中プラズマblast比率の臨床的意義（第2報）				3	2
	10046	P-12	非典型的MRI所見を呈したGFAPアストロサイトパチー（GFAP-A）の3例：画像所見の多様性と診断上の課題				3	2
ポスター3 「末梢神経・筋1」	10063	P-13	ギラン・バレー症候群における免疫療法への治療反応性に関する臨床的検討	10月22日(木)	ポスター会場1 (6F 大会議室A)	15:55～16:25	3	2
	10042	P-14	CIDPにおける神経伝導検査と治療反応性・長期予後の関連：日本CIDPレジストリ研究				3	2
	10238	P-15	エフガルチギモド皮下注を導入したCIDP症例の臨床像及び従来治療からの切り替え方法についての検討				3	2
	10075	P-16	徳島県におけるギラン・バレー症候群の20年間の疫学的変遷				3	2
	10122	P-17	Efgartigimod維持療法が奏効し、投与間隔延長後も病状安定を維持できたCIDPの一例				3	2
	10068	P-18	エフガルチギモドの導入によりステロイドの減量が可能であった慢性炎症性脱髄性多発根神経炎の2例				3	2
ポスター4 「MS1」	10106	P-19	髄液プロテオミクス解析による多発性硬化症精神症状の分子基盤解明研究	10月22日(木)	ポスター会場1 (6F 大会議室A)	16:25～17:00	3	2
	10220	P-20	多発性硬化症におけるCSF 血清細胞外小胞プロテオーム統合解析				3	2
	10228	P-21	【アンコール演題】抗flotillin-1/2抗体陽性の中枢神経炎症性疾患—皮質脳炎およびADEMの2例—				3	2
	10145	P-22	血清EBV抗体陰性MSの3症例の検討				3	2
	10073	P-23	進行型多発性硬化症の障害蓄積パターンの可視化と寄与因子の検討				3	2
	10156	P-24	多発性硬化症患者のCVSとPMLの出現率についての検討				3	2
	10166	P-25	出産翌日に再発した多発性硬化症（MS）の2例				3	2
ポスター5 「実験モデル」	50000	P-26	アルツハイマー病モデルマウス脳に蓄積するCD8T細胞の表現型およびクローン性の解析	10月22日(木)	ポスター会場2 (6F 大会議室C)	14:55～15:25	3	2
	10111	P-27	アルツハイマー病モデルマウス脳に集積するCD8+T細胞の特徴的な表現型およびT細胞受容体特性				3	2
	10065	P-28	抗IL-6受容体抗体はAQP4ペプチド免疫マウスの視機能障害を改善する				3	2
	10113	P-29	抗原提示細胞を介したin vitro cell-free HTLV-1感染モデルの作成				3	2
	10239	P-30	Xenium空間解析による高齢マウス脳の老化関連変化の評価				3	2
	10164	P-31	CGRP受容体拮抗薬は多発性硬化症モデルマウスの疼痛過敏を軽減する				3	2
ポスター6 「MG・LEMS1」	10231	P-32	重症筋無力症の予後に対するC5阻害剤の早期介入効果(Urgent MG試験)多施設共同前向き試験	10月22日(木)	ポスター会場2 (6F 大会議室C)	15:25～15:50	3	2
	10091	P-33	胸腺腫合併重症筋無力症における術後クリーゼ予測スコアを指標とした術前免疫治療介入の有用性				3	2
	10119	P-34	MG診療における脳神経内科医と他科医師の診療実態比較—D to D相談データの后方視的解析—				3	2
	10151	P-35	ACHR抗体陽性MGへのFcRn阻害薬の治療反応性：IgG非依存的抗体上昇を示したロザリキスマブ使用例の検討				3	2
	10012	P-36	重症筋無力症におけるEQ-5D-5L変化と臨床指標の関連				3	2
ポスター7 「MG・LEMS2」	10022	P-37	抗AChR抗体陽性患者における胸腺摘出後の免疫リモデリング	10月22日(木)	ポスター会場2 (6F 大会議室C)	15:55～16:25	3	2
	10054	P-38	重症筋無力症における疲労・睡眠障害・抑うつとMyasthenia Gravis Impairment Indexの関連に関する検討				3	2
	10067	P-39	重症筋無力症における反復刺激試験の減衰率によるFcRn阻害薬使用例および維持療法導入例の識別能の検討				3	2
	10197	P-40	抗ACh受容体抗体低値陽性例（1.0 nmol/L未満）の臨床的特徴および経過の検討				3	2
	10055	P-41	実験的自己免疫性重症筋無力症モデルにおける経口プロテアソーム阻害薬イキサゾミブの治療効果				3	2
	10134	P-42	重症筋無力症における血清GDF-15濃度の検討				3	2
ポスター8 「NMOSD/MOGAD2」	10162	P-43	視神経脊髄炎スペクトラム障害における補体C5a—単球—Tfh/B細胞軸とC5阻害下の免疫是正	10月22日(木)	ポスター会場2 (6F 大会議室C)	16:25～16:55	3	2
	10094	P-44	MS/NMOSDにおける疲労・抑うつの疾患別背景：SyMRI脳容積指標と臨床機能指標の検討				3	2
	50003	P-45	多発性硬化症及び視神経脊髄炎スペクトラム症における不妊治療の現状とマネジメントの検討				3	2
	10153	P-46	医療デバイドは存在するか？—神経免疫疾患におけるDtoDオンライン相談システム441件の解析—				3	2
	10133	P-47	当院における高齢発症した抗AQP4抗体陽性NMOSDの初回治療介入と機能的予後の関連				3	2
	10121	P-48	急性期治療終了後早期にラプリズマブを導入し、長期的な神経予後の改善が得られたNMOSDの一例				3	2

セッション名 セッションテーマ	UMIN 登録番号	演題番号	演題名	発表日	会場名	セッション時間	発表 時間	質疑 時間
ポスター-9 「脳炎・脳症2」	10025	P-49	BCP-ALL診断に先行した両側島回皮質脳炎にRituximabが有効であった5歳男児	10月23日(金)	ポスター会場1 (6F 大会議室A)	14:55～15:25	3	2
	10027	P-50	DAT-SPECT異常と首下がりを呈した抗GluR抗体陽性脳炎				3	2
	10240	P-51	長期間経過観察でき、脳萎縮の改善を認めた重症抗NMDA受容体脳炎の一例				3	2
	10116	P-52	高次脳機能障害を主徴としたSez6I2抗体陽性の自己免疫性脳炎の53歳男性例				3	2
	10032	P-53	脊髄造影効果を認めた、硬直とミオクローヌスを伴う進行性脳脊髄炎(PERM)の高齢発症例				3	2
	10081	P-54	ヘルペス脳炎発症2年後にてかん重積を来した自己抗体陰性の自己免疫性脳炎を疑う50代男性				3	2
ポスター-10 「MG・LEMS3」	10150	P-55	全身型重症筋無力症に対するヒフデュア配合皮下注シリンジの使用感	10月23日(金)	ポスター会場1 (6F 大会議室A)	15:25～15:50	3	2
	10036	P-56	第3相臨床試験MINT:gMGにおけるイネプリズマブのRCP中に発現した特に注目すべき有害事象(AESI) (EAN既発表)				3	2
	10118	P-57	Real-world Impact of Earlier Efgartigimod Use in Treatment Sequencing in Patients with gMG in Japan				3	2
	10186	P-58	Post-marketing surveillance of zilucoplan in gMG patients: Initial results (Second report)				3	2
	10140	P-59	重症筋無力症2例におけるエフガルチギモド長期使用による自己抗体産生の抑制効果				3	2
ポスター-11 「MG・LEMS4」	10131	P-60	Fibroblastic reticular cell tumorを合併した全身型早期発症重症筋無力症(g-EOMG)の1例	10月23日(金)	ポスター会場1 (6F 大会議室A)	15:55～16:25	3	2
	10058	P-61	FcRn阻害薬治療中に妊娠・出産した抗MuSK抗体陽性重症筋無力症の一例(第2報)				3	2
	10237	P-62	FcRn製剤使用中に徐々に症状変動をきたした全身型重症筋無力症2症例				3	2
	10105	P-63	早期ジルコبران導入によりクリーゼ進行を回避した10代発症の胸腺腫関連重症筋無力症の一例				3	2
	50004	P-64	ジルコبران導入により短期間で術前ステロイド減量が可能となった胸腺腫合併重症筋無力症の1例				3	2
	10171	P-65	抗アセチルコリン受容体抗体(抗AChR抗体)値が急上昇(overshoot)した胸腺腫関連重症筋無力症の女性例				3	2
ポスター-12 「MS2」	10104	P-66	再発寛解型多発性硬化症における定量MRIを用いた治療強度別の髄鞘量・微細構造変化	10月23日(金)	ポスター会場1 (6F 大会議室A)	16:25～17:00	3	2
	10227	P-67	フィンゴリモドからナタリズマブへ切替後に顕在化した播種性クリプトコッカス髄膜炎				3	2
	10002	P-68	SDMT/MoCA-J/FABを用いた多発性硬化症の縦断的認知機能評価：後ろ向きコホート研究				3	2
	10009	P-69	当院の多発性硬化症におけるHigh-Efficacy Therapyの長期安全性に関する検討				3	2
	10230	P-70	2020年以降の多発性硬化症治療薬選択と切替傾向の解析				3	2
	10224	P-71	2024年改定McDonald診断基準で多発性硬化症の診断基準を満たした治療抵抗性の脊髄炎の2例				3	2
	10057	P-72	妊娠中期までofatumumabを使用し出産に至った再発寛解型多発性硬化症の1症例				3	2
ポスター-13 「末梢神経・筋2」	10003	P-73	免疫チェックポイント阻害薬関連筋無力症・筋炎における自己抗体と臨床像	10月23日(金)	ポスター会場2 (6F 大会議室C)	14:55～15:20	3	2
	10076	P-74	エフガルチギモド皮下注射治療を行った典型的慢性炎症性脱髄性多発ニューロパチー7症例の検討				3	2
	10155	P-75	手術後に発症しirAE重症筋無力症との鑑別を要した多発脳神経障害合併ICI関連脱髄性ニューロパチーの1例				3	2
	10179	P-76	抗E抗体陽性筋炎の急性期治療後にも残存していた嚥下障害が免疫グロブリン大量静注療法後に改善した1例				3	2
	10212	P-77	MAG抗体陰性であったSGPG抗体陽性ニューロパチー2例の臨床的特徴				3	2
ポスター-14 「脳炎・脳症3」	10016	P-78	胆嚢小細胞神経内分分泌癌に伴う抗GABA-B受容体脳炎：CV2/CRMP5・Zic4・recoverin抗体合併例	10月23日(金)	ポスター会場2 (6F 大会議室C)	15:25～15:55	3	2
	10087	P-79	病初期に抗体陰性であった自己免疫性GFAPアストロサイトパチーの2例				3	2
	10126	P-80	異なる病型を呈した免疫関連有害事象(irAE)脳炎3例の検討				3	2
	10095	P-81	発症早期に眼窩脂肪嚢に高信号を認めたGFAPアストロサイトパチーの一例				3	2
	10097	P-82	経時的な臨床症状の改善を脳波所見の推移から確認し得た抗NMDA受容体脳炎の一例				3	2
	10103	P-83	抗NMDA受容体脳炎に対しリツキシマブを早期導入し著効した2例				3	2
ポスター-15 「その他」	10093	P-84	ANCA関連肥厚性硬膜炎による多発脳神経障害から重度嚥下障害を呈した1例	10月23日(金)	ポスター会場2 (6F 大会議室C)	15:55～16:25	3	2
	10205	P-85	瞳孔異常、偽性腸閉塞、血漿ノルアドレナリン低値・低反応が診断の契機となった自己免疫性自律神経節障害				3	2
	10069	P-86	脳幹・脊髄病変と髄液IL-6の著明な上昇を認めた急性型神経ベーチェット病の1例				3	2
	10070	P-87	抗セントロメア抗体陽性シェーグレン症候群による進行性脊髄症に対するofatumumabの有効性：症例報告				3	2
	10157	P-88	精神症状とびまん性白質病変を呈し診断に時間を要した中枢神経悪性リンパ腫の一例				3	2
	10090	P-89	全身型重症筋無力症を合併したStiff-person症候群に対し2種のFcRn阻害薬で痙性を制御した1例				3	2

セッション名 セッションテーマ	UMIN 登録番号	演題番号	演題名	発表日	会場名	セッション時間	発表 時間	質疑 時間
ポスター16 「NMOSD/MOGAD3」	50001	P-90	視神経脊髄炎スペクトラムの好中球減少症における抗好中球抗体測定の実臨床的有用性	10月23日(金)	ポスター会場2 (6F 大会議室C)	16:25～17:05	3	2
	10000	P-91	日本視神経脊髄炎スペクトラム障害レジストリにおける2年目報告（第2報）				3	2
	10101	P-92	原因腫瘍の摘出により症状が軽快した傍腫瘍性NMOSDの2例				3	2
	10137	P-93	ラブリズマブの早期導入により著明な視力改善を認めたAQP4抗体陽性NMOSDの2例				3	2
	10170	P-94	進行性脳萎縮を呈したNMOSDの2症例				3	2
	10203	P-95	イネピリズマブ導入後にMG症状の改善も認め、再発なく経過しているMG合併NMOSDの1例				3	2
	10011	P-96	ビスホスホネート製剤による非定型大腿骨骨折を契機にサトラリズマブを導入したNMOSDの1例				3	2
	10168	P-97	脳神経内科医の効率的な情報取得を促進し、治療の均質化を目指す取り組み				3	2